

# 能 泉 涌 流 多 喜

高林白牛口二斯道七十年記念東京公演

おはなし 馬場あき子

俊成忠度 高林昌司

文蔵 山本東次郎

鸚鵡小町 高林白牛口二

猩々乱 高林呻二

主催 高吟会

平成21年6月20日(土) 正午始 (開場11時)

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9 電話 03-3491-8813

JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに

目黒駅下車、徒歩7分

入場料 前売 指定席 10000円 自由席 8000円  
当日 指定席 12000円 自由席 10000円

問合せ 〒603-8354 京都市北区等持院西町15 高吟会

電話 075-462-1490 FAX 075-463-3494

E-mail koginkai@f3.dion.ne.jp URL <http://www.f3.dion.ne.jp/~koginkai/>



三歳の時の子方を初舞台として、以後七十年を経過しました。これを記念して、第二回の「喜多流涌泉能」東京公演を、高林白牛口二斯道七十年記念三代能と名付けて催します。

七十年の年月を顧みて、初舞台の時も、五歳での十四世六平太の子方の時も、微かではありますが、舞台の光景を覚えていたような気がします。七十年の間に様々な出来事がありました。その全てを走馬燈のごとくに思い出しています。

この七十年間の内に於いて、唯一の師匠である父から注ぎ込まれた能の生命とも言うべきものと、その父を三十六歳で見送った後に、父から授けられたものの上積みとして蓄積された数々のものごとを、次世代に伝えることが、これからの私の大事な使命であると、覚悟をしています。

還暦の年に生まれました昌司も、身長で私を追い越すまで成長し、この三代能では面を着けて能を舞うところまで、修行の成果を上げています。

どうぞこれからも私共一家と、喜多流を、温かくご支援頂きますよう、お願い申し上げます。

高林白牛口二

涌泉能の由来は、次の偈に由来しています。

### 動静以天地 視哉涌泉美 鈿之翁

これは「動静(ドウジョウ) 天地(テンチ)を以(モツ)てす、視(ミ)よ哉(ヤ) 涌泉(ヨウセン)の美(ビ)を」と読みます。動静は、ここでは禅語の読みに倣ってドウジョウと読みます。意味は、動なる時も、静なる時も、天地を以て為せ。そうすればその「藝」(ワザオギ)は涌泉(ヨウセン)と読みます。足の裏、土踏まずのこと、即ち足、能の足運びを意味しています(の美しさに洗われる。足運び・足の美しさは、能の生命です。鈿之翁(ウズノオキナ)は、高林吟二の雅号で、この偈(ゲ)を私達能を志す者に、指標(ミチシルベ)として与えました。京都の高林家稽古場の入口にも、掲出されていますし、涌泉能の番組の冒頭にも掲げられています。由緒と伝統のある、京都の喜多流の流れを汲む者は、この偈の持つ趣旨を、常に念頭に置いて、修業に励んでいます。

動静以天地  
視哉涌泉美  
鈿之翁

### 涌泉能番組

おはなし 馬場 あき子

佐藤 寛泰  
内田 成信  
高林 昌司

俊成忠度 宝生 欣哉 柿原 弘和 一噌 隆之  
横山 幸彦

文蔵 山本 東次郎 山本 則秀

鸚鵡小町 高林 白牛口二 宝生 閑 亀井 忠雄 杉 市和  
横山 晴明

休憩二十分

猩々乱 高林 呻二 宝生 朝哉 亀井 広忠 前川 光範  
成田 達志 杉 信太郎

終了予定 四時半頃

主催

## 高吟会

許可なく写真撮影録音録画は、堅くお断り致します。携帯電話 ポケットベル 時計のアラームは、予めお切り下さい。